

5. 当該地域の現状

5.1. 既往調査の概要

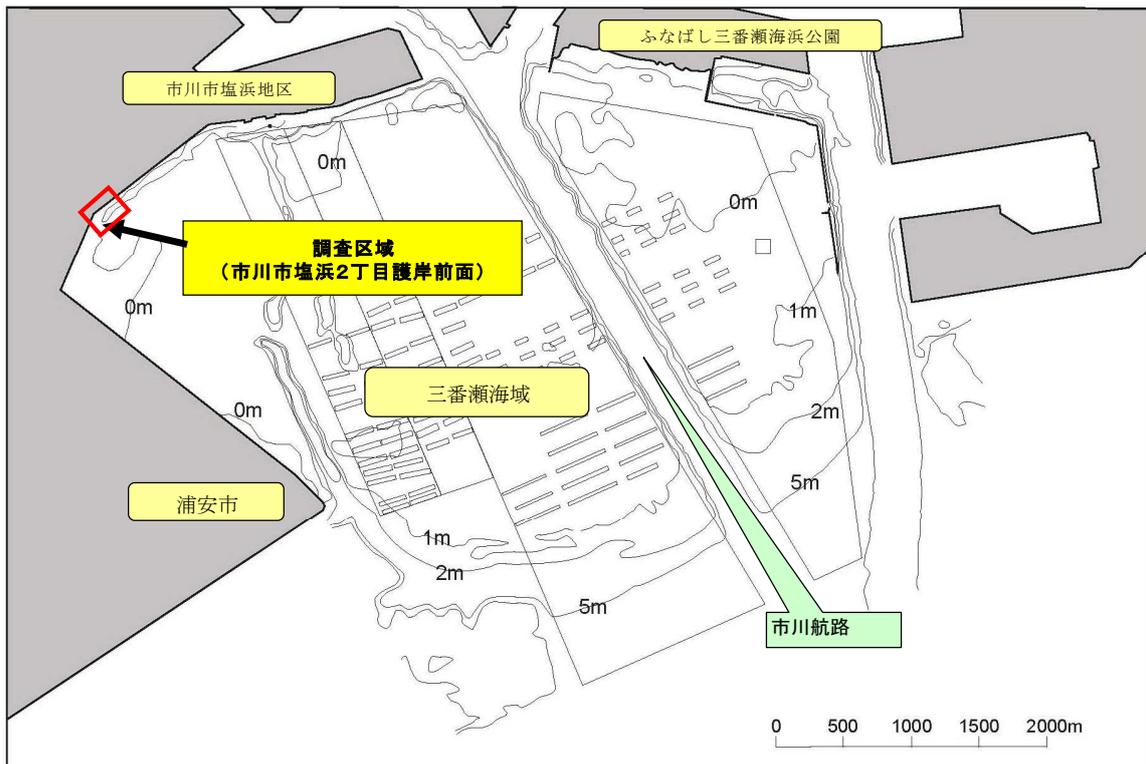
本業務の対象区域である、市川市塩浜2丁目地先においては、平成22年度～平成23年度にかけて、水質、底質等の現地調査が実施されている。

現地調査の概要は表5-1に、現地調査地点は図5-1に示すとおりである。

なお、本資料の整理にあたっては、これらの塩浜2丁目地先における調査だけでなく、その周辺における調査結果についても一部整理を行った。

表5-1 現地調査の概要（平成22年度～平成23年度）

項目	内容	時期	備考
水質	溶存酸素量(DO)、水温、pH、塩分	平成22年8月～平成24年2月	
波浪・波高	波高計による観測	平成22年8月(大潮)、9月(小潮)	
	砂移動の試験(10m×10mの水準測量)	平成22年8月～平成24年2月	平成22年8月に砂を投入
底質	代表3地点の粒度分析	平成22年8月～平成24年2月	
生物	コドラート調査 (25cm×25cm×10cm)	平成22年8月～平成24年2月	



出典:「平成23年度三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成24年3月 千葉県)

図5-1 現地調査地点（平成22年度～平成23年度）

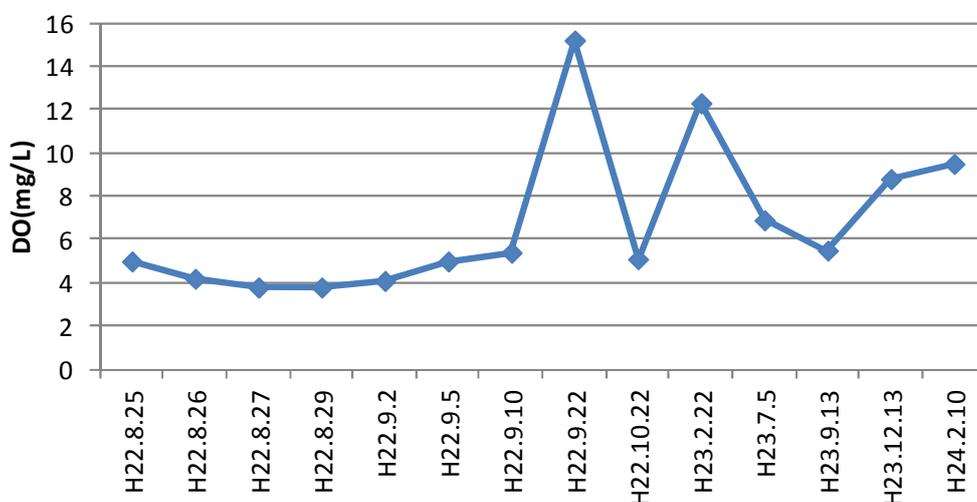
5.2. 既往調査結果

(1) 水質

平成 22～23 年度における市川市塩浜 2 丁目地先における水質調査結果は、図 5-2 に示すとおりである。

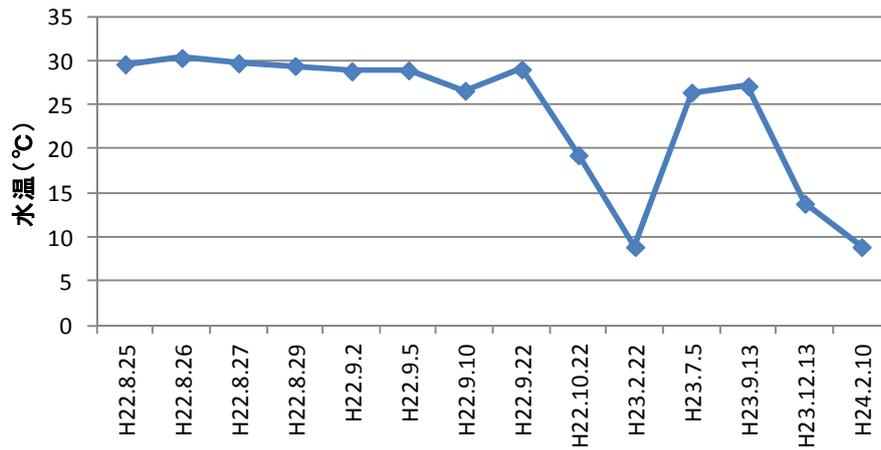
平成 22 年 8 月 26 日～9 月 2 日までの間は溶存酸素量（以下、DO と示す。）が 3.8～4.2mg/L と低く、水産用水基準において「内湾魚漁場の夏季底層において最低限維持しなくてはならない溶存酸素」とされている 4.3mg/L を下回っていたが、調査期間中には貧酸素水の目安を下回ることにはなかった。

水温は夏季には 30℃を超える時期も見られた。また、pH は概ね 8.0 前後で推移し、塩分は概ね 20～30psu 前後で推移していた。



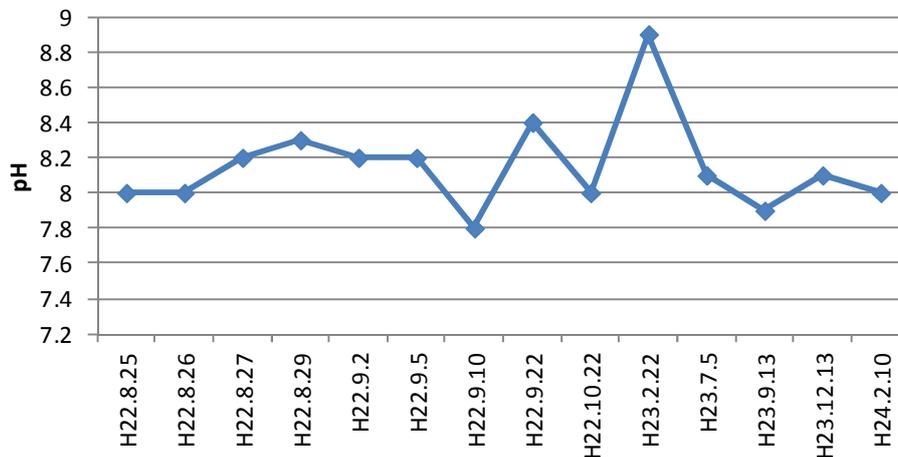
出典：「平成 22 年度 三番瀬再生実現化試験事業(干潟的環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 23 年 3 月 千葉県)
「平成 23 年度三番瀬再生実現化試験事業(干潟的環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 24 年 3 月 千葉県)
より作成

図 5-2(1) 水質調査結果 (DO)



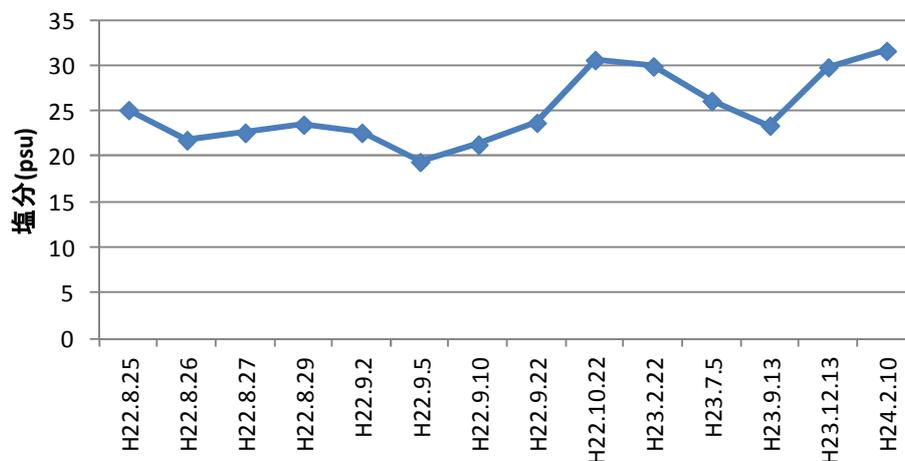
出典:「平成 22 年度 三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 23 年 3 月 千葉県)
「平成 23 年度三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 24 年 3 月 千葉県)
より作成

図 5-2(2) 水質調査結果 (水温)



出典:「平成 22 年度 三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 23 年 3 月 千葉県)
「平成 23 年度三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 24 年 3 月 千葉県)
より作成

図 5-2(3) 水質調査結果 (pH)

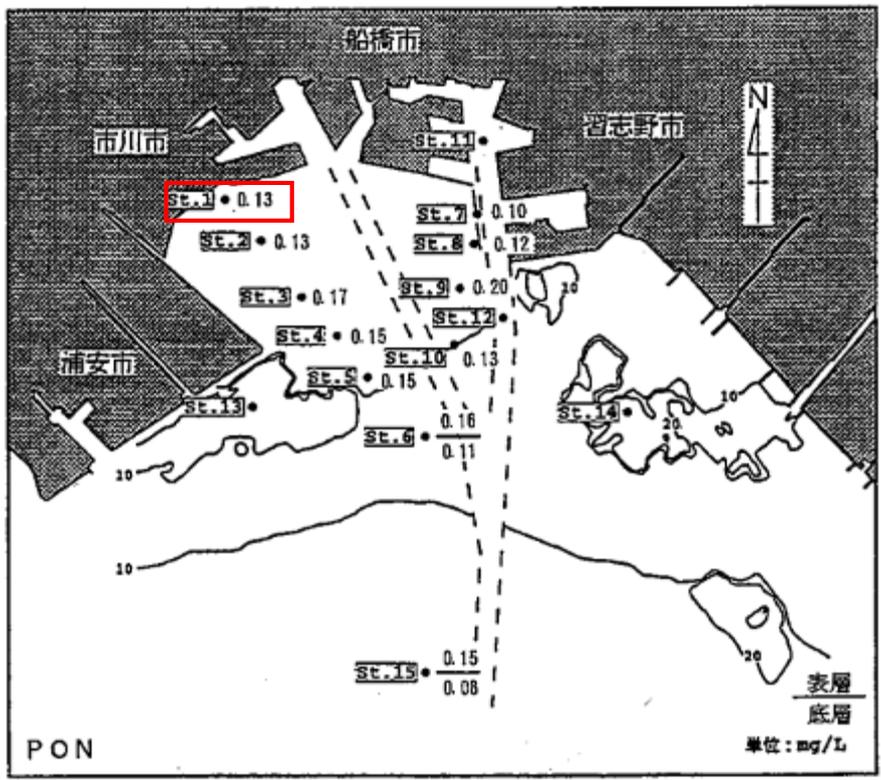
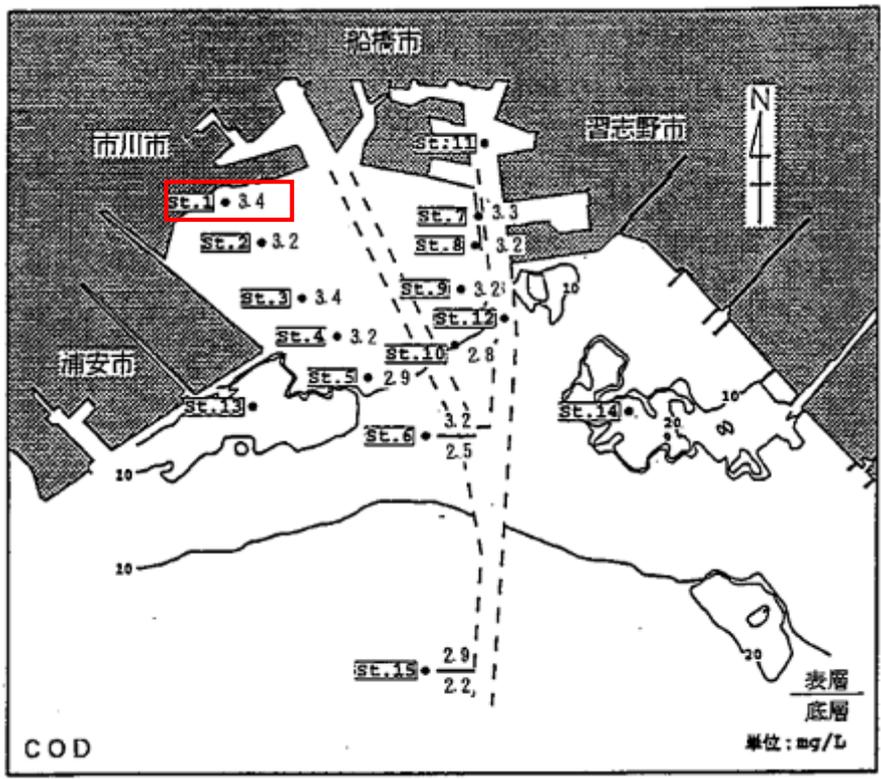


出典:「平成 22 年度 三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 23 年 3 月 千葉県)
「平成 23 年度三番瀬再生実現化試験事業(干潟の環境形成試験)業務委託 報告書」(平成 24 年 3 月 千葉県)
より作成

図 5-2(4) 水質調査結果 (塩分)

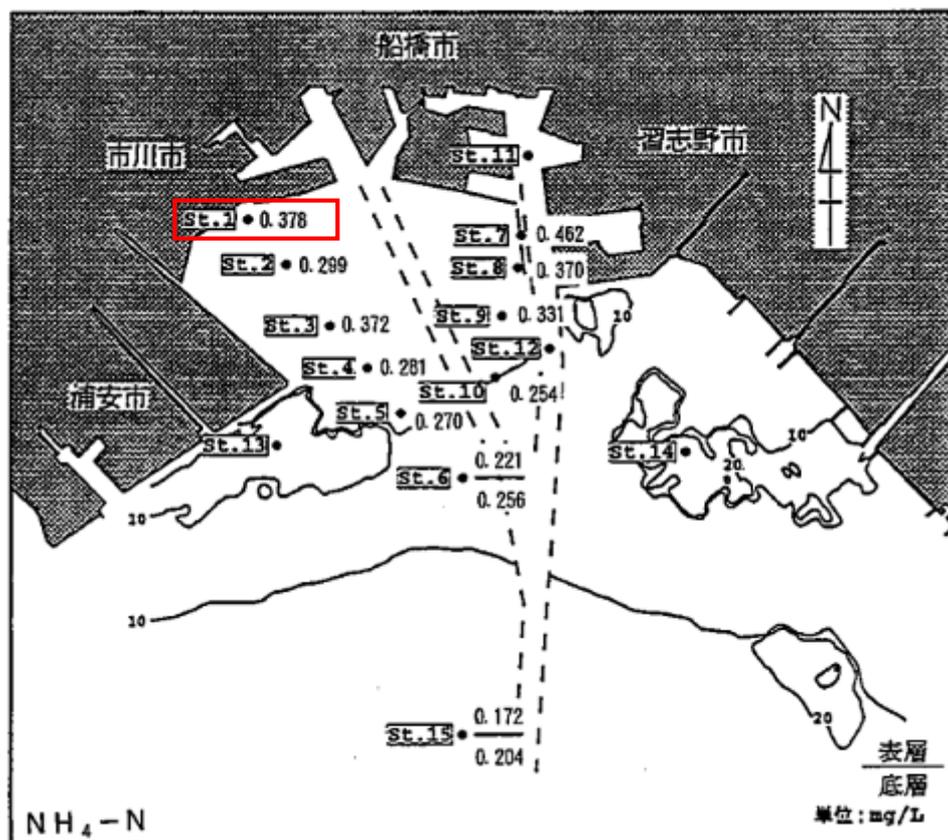
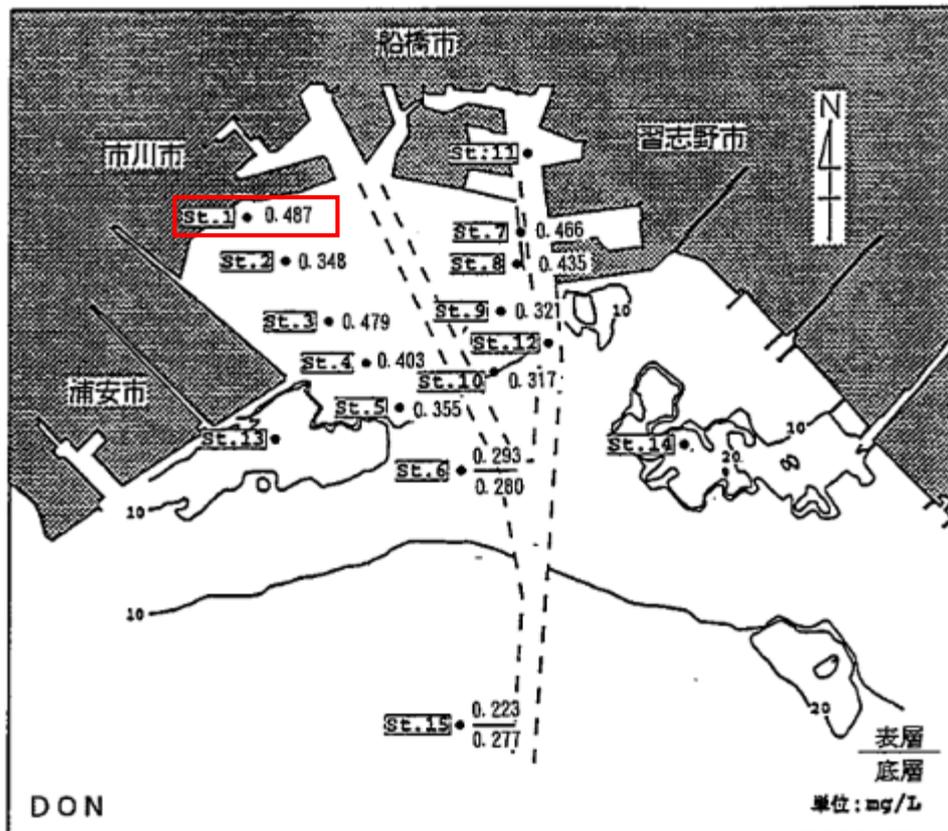
また、平成8年度における水質観測結果（四季平均）は、図5-3に示すとおりである。

市川市塩浜2丁目の比較的近傍に位置する地点としては、St.1があげられ、化学的酸素要求量（以下、CODと示す。）、窒素（粒子性有機体窒素（以下、PONという。）、溶解性有機体窒素（以下、DONという。）、アンモニア性窒素（以下、 $\text{NH}_4\text{-N}$ という。）、硝酸性窒素（以下、 $\text{NO}_3\text{-N}$ という。）、リン（オルトリン酸態リン（以下、 $\text{PO}_4\text{-P}$ という。））のいずれも沖合と比較して浅海域でやや高くなる傾向がみられた。



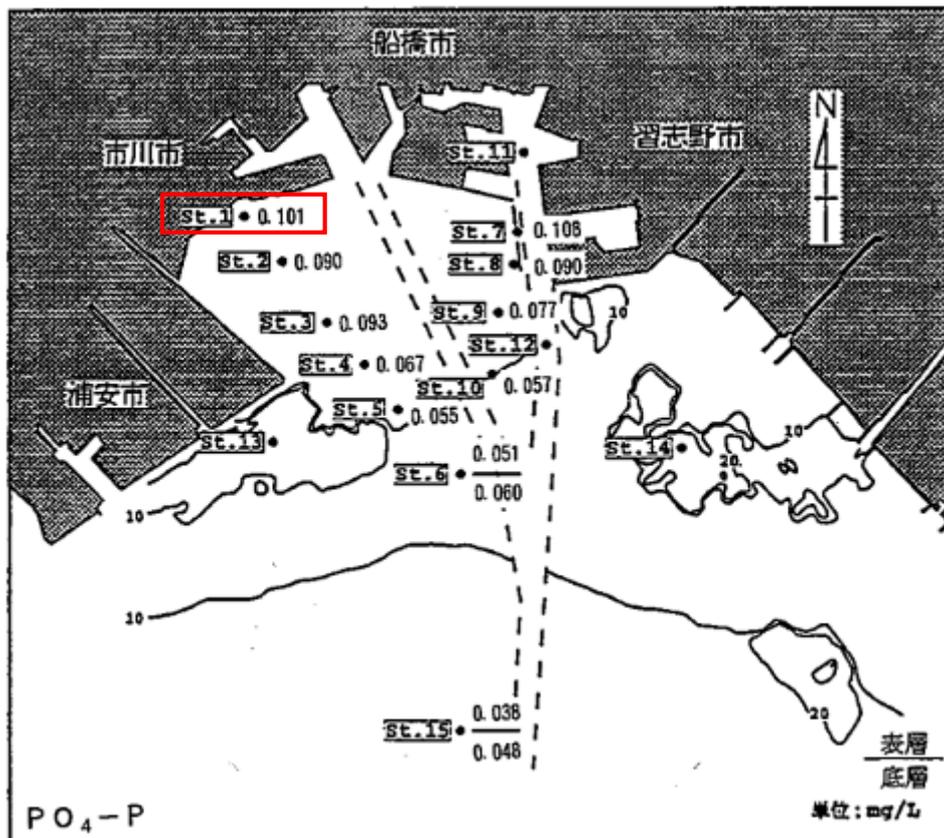
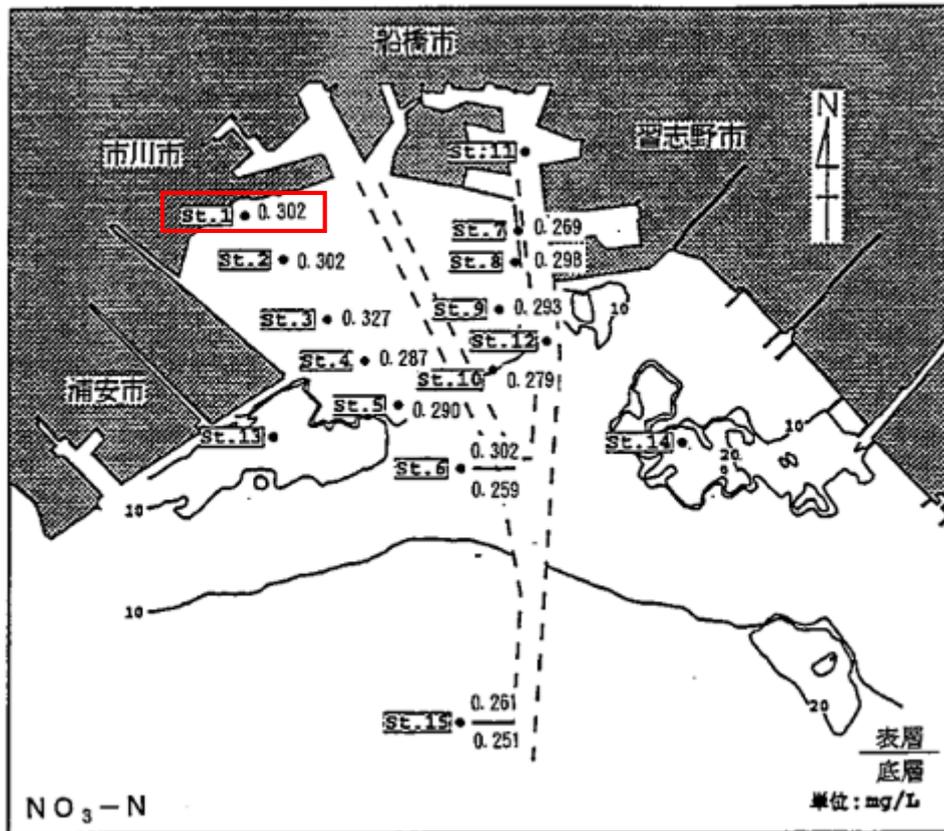
出典：「市川二期・京葉港二期地区海浜・干潟創出基礎調査業務委託 報告書」
 (平成 11 年 6 月 千葉県企業庁、(財)港湾空間高度化センター)

図 5-3(1) 三番瀬周辺の水質水平分布 (四季平均：平成 8 年度)



出典：「市川二期・京葉港二期地区海浜・干潟創出基礎調査業務委託 報告書」
 (平成 11 年 6 月 千葉県企業庁、(財)港湾空間高度化センター)

図 5-3(2) 三番瀬周辺の水質水平分布 (四季平均：平成 8 年度)



出典: 「市川二期・京葉港二期地区海浜・干潟創出基礎調査業務委託 報告書」
(平成 11 年 6 月 千葉県企業庁、(財)港湾空間高度化センター)

図 5-3(3) 三番瀬周辺の水質水平分布 (四季平均: 平成 8 年度)

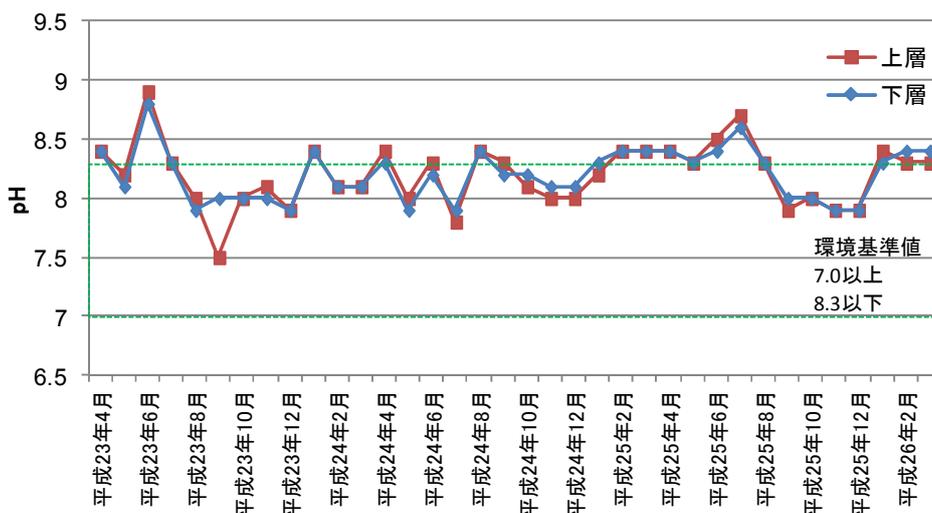
また、平成 22～25 年度における公共用水域の水質調査結果は、図 5-4 に示すとおりである。塩浜 2 丁目の比較的近傍に位置する地点としては、「東 2」があげられる。

pH は、多くが環境基準値の範囲内であったが、高い値を示す期間も見られた。

COD は、概ね環境基準値以下となっていた。

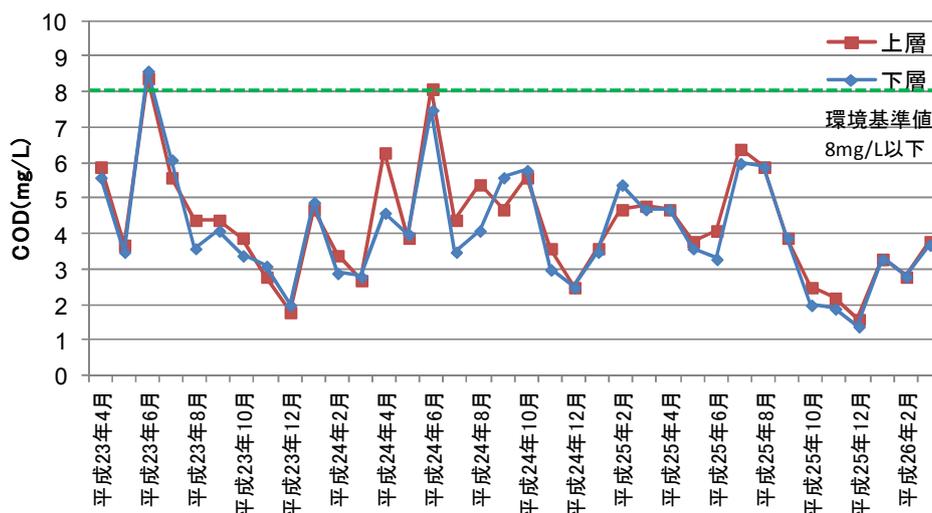
DO は、上層では全期間で環境基準値を上回り、下層では夏季に環境基準値を下回る期間も見られるなどの低い値となっていた。

全窒素及び全リンは、上層の値が高く、環境基準値を上回る期間が多く見られた。



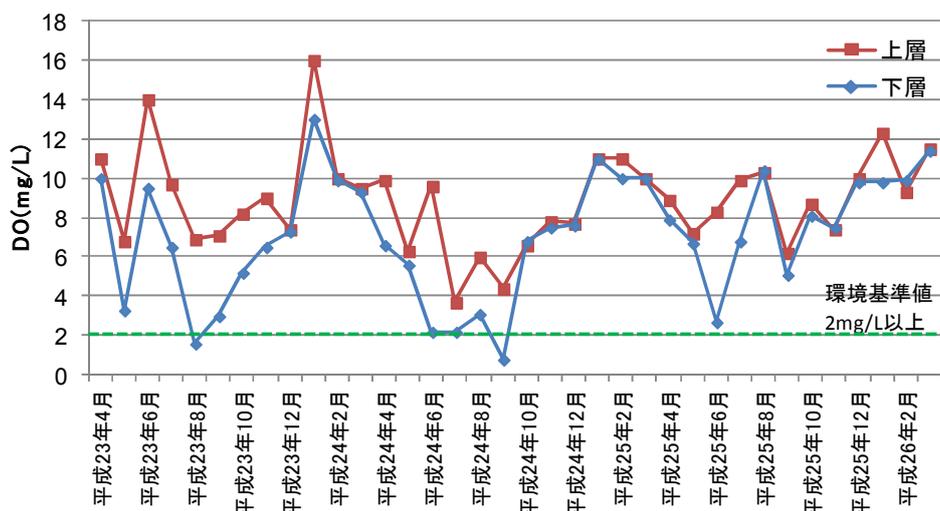
出典：千葉県 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（千葉県ホームページ）

図 5-4(1) 公共用水域水質調査結果 (pH)



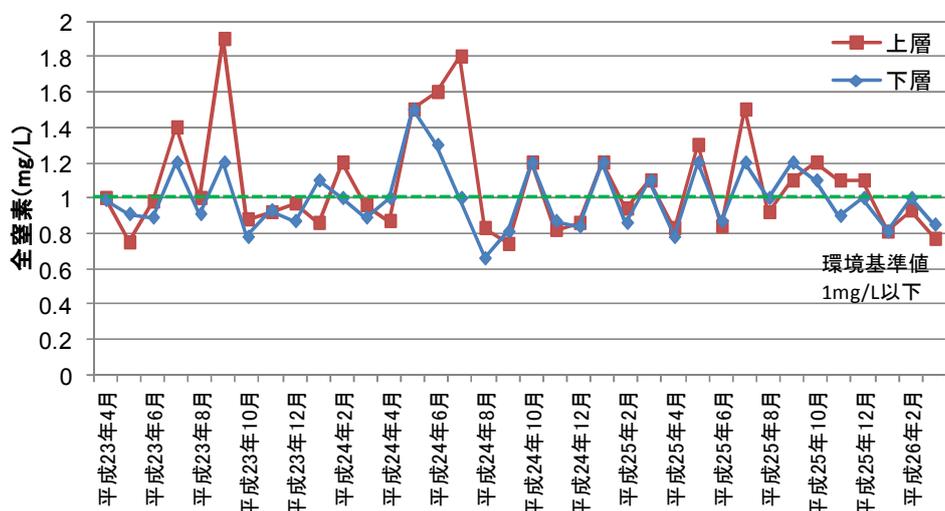
出典：千葉県 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（千葉県ホームページ）

図 5-4(2) 公共用水域水質調査結果 (COD)



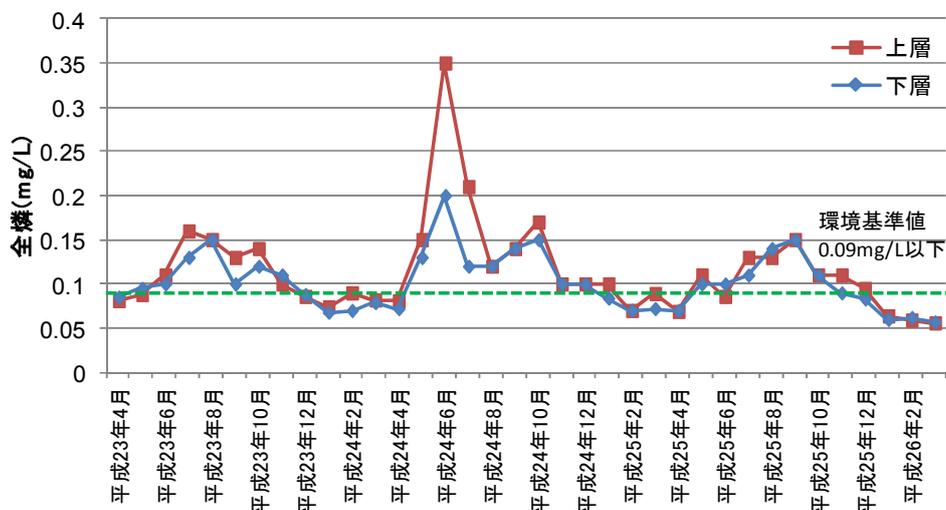
出典：千葉県 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（千葉県ホームページ）

図 5-4(3) 公共用水域水質調査結果 (DO)



出典：千葉県 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（千葉県ホームページ）

図 5-4(4) 公共用水域水質調査結果 (全窒素)



出典：千葉県 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（千葉県ホームページ）

図 5-4(5) 公共用水域水質調査結果 (全リン)